

## 持ちやすく注ぎやすい カフェケトル 温度調節付き

CZ-SOCK900-BK

### 【取扱説明書・保証書】

一般家庭用

(業務用としては使用しないでください)

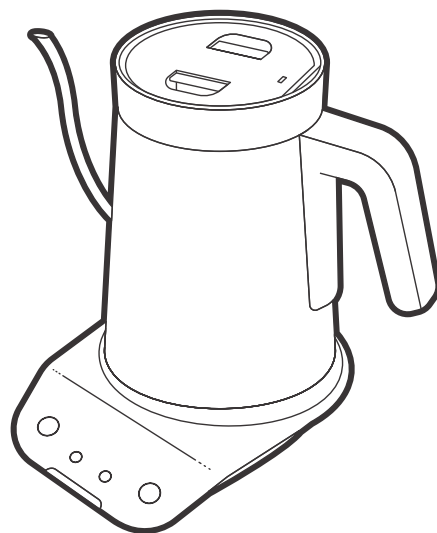
このたびは、お買い上げいただき、ありがとうございます。

正しく安全にご使用いただくため、「取扱説明書」を必ずお読みください。

「取扱説明書」は保管していただき、必要なときにお読みください。

## CONTENTS

- 1. 安全上のご注意 ..... P2
- 2. 各部のなまえ ..... P5
- 3. 使用上のお願い ..... P7
- 4. 使いかた ..... P8
- 5. お手入れ方法 ..... P13
- 6. 故障かなと思ったら ..... P15
- 7. 仕様 ..... P17
- 8. 部品・消耗品 ..... P18
- 9. 保証とアフターサービスについて ..... P19
- 10. 保証書 ..... P20



# 1. 安全上のご注意 — 必ずお守りください —

ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の方への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために重要な内容を記載しています。お使いになる前によくお読みになり、記載事項を必ずお守りください。

## 表示の説明



### 警告

取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。



### 注意

取り扱いを誤った場合、傷害を負う、または物的損害が発生することが想定される内容です。

## 図記号の説明



禁止（してはいけない内容）を示します。



強制（実行しなくてはならない内容）を示します。



## 警告

### 本製品の取り扱いについて



分解禁止

分解、修理や改造を絶対に行わない。発火・感電・ケガの原因になります。修理は、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターにご相談ください。



禁止

お子様、取り扱いに不慣れな人、補助を必要とする人だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使わない。火傷・感電・ケガの原因になります。操作できる人が必ず付き添ってください。



水ぬれ禁止

本体の底部や電源プレートに水をかけたり、水をかけたりしない。ショート・感電の原因になります。



接触禁止

湯沸かし中や湯沸かし後は本体や注ぎ口、蒸気口に触れたり、手や顔を近づけない。火傷の原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。



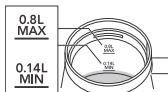
禁止

水が0.14Lより少ない状態で加熱しない。湯が注ぎ口から飛び出して火傷の原因になります。また、温度が正常に検知できません。



禁止

満水目盛り (MAX 0.8 L) 以上の水を入れない。湯がふきこぼれて、火傷・感電・ケガの原因になります。



禁止

ふたを開けたまま使わない。湯沸かし中は、ふたを確実に閉めてください。ふたを開けたまま使うと蒸気が漏れ、湯が流れ出て火傷の原因になります。



禁止

注ぎ口をふきんなどでふさがない。湯がふきこぼれて、火傷の原因になります。



禁止

本体を抱きかかえたり、傾けたり、ゆすったり、上下に勢いよくふったり、ふた(ふた開閉つまみ)を持って移動や排湯をしない。

湯がふきこぼれて、火傷・感電・ケガの原因になります。



禁止

本体を転倒させない。

湯が流れ出て、火傷の原因になります。本製品には給湯ロック機構は付いていません。ふたが閉まっても、転倒時の状況によっては注ぎ口などから湯が流れ出るおそれがあります。



ふたは確実に取り付ける。

倒れたときに湯が流れ出て、火傷の原因になります。



禁止

本体や電源プレートを落したり、衝撃を加えたりしない。

感電・故障の原因になります。



禁止

本体の底部や電源プレートの接続部(金属部)にピンなどの金属片やごみを付着させない。

感電・ショート・発火の原因になります。



禁止

ガス火にかけたり、電気ヒーター・IH調理器・電子レンジなどで使わない。

火災・熱による変色・変形・故障の原因になります。



本製品は一般家庭用途および次のような類似用途で使用する。

- 商店、オフィス、またはその他の作業環境にあるスタッフ用キッチンでの使用
- 居間やキッチンなど住居に類似した環境での使用

ただし、不特定多数による長時間の使用は避けてください。

## 警告



禁止

**水以外のものを入れたり、沸かししたりしない。**

湯沸かし以外の目的では使わないでください。牛乳・紅茶・酒・スープなどを入れて使うと、泡立って内容物がふき出して火傷の原因になります。

また、ビンやカップ、レトルトパックなど液体以外のものを入れて使うと、故障・汚れ・焦げつきの原因になります。



禁止

**氷を入れて保冷用に使わない。**

冷たい水や氷を入れると結露が生じ、感電・故障の原因になります。



**お子様が本製品で遊ぶことがないように注意する。**

火傷・感電・ケガの原因になります。



禁止

**ふたを勢いよく閉めない。**

蒸気による火傷の原因になります。



**湯を注ぐときは電源プレートの接続部に水がかからないよう注意する。**



**製品に異常が発生した場合は、すぐに使用を中止する。**

製品に異常が発生したまま使用を続けると、発煙・発火・感電・漏電・ショート・ケガなどの原因になります。

＜異常・故障例＞

- ・電源コードや電源プラグがふくれるなど、変形、変色、損傷している
- ・電源コードの一部や電源プラグがいつもより熱い
- ・電源コードを動かすと通電したりしなかったりする
- ・本体がいつもと違って異常に熱くなったり、焦げ臭いニオイがする など

上記のような場合は、すぐに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼してください。

## 電源コード・電源プラグについて



ぬれ手禁止

**ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない。**

感電・ケガの原因になります。



禁止

**電源コードが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない。**

ゆるみやガタつきがあるコンセントを使用すると、電源プラグと十分な接触が得られず、異常発熱し、発火の原因となります。

コンセントにゆるみやガタつきのある場合は、お近くの電気店に修理をご依頼ください。



禁止

**電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない。**

電源コードや電源プラグを以下のような状態で使うと、感電・ショート・火災の原因になります。キズつける、加工する、無理に曲げる、高温部に近づける、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、挟み込む、束ねる など



**AC100Vのコンセントを単独で使用する。**

他の機器との併用により定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



**電源プラグは根元まで確実に差し込む。**差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因になります。



**電源コードが破損した場合、コードの交換は危険を防止するために、お買い上げの販売店またはシロカサポートセンターに点検・修理を依頼する。**

感電・ショート・発火の原因になります。



**電源プラグの刃および刃の取り付け面に付着したほこりはふき取る。**

ほこりが付着していると、火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

**電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く。**

感電やショートによる発火の原因になります。



**加熱が停止していることを確認してから、電源プラグを抜き差しする。**

ケガの原因になります。



プラグを抜く

**お手入れをするときは必ず電源プラグをコンセントから抜く。**

火傷・感電・ケガの原因になります。



禁止

**本体の底部や電源プレートの接続部(金属部)をなめさせない。**

感電・ケガの原因になります。特に乳幼児には触れさせないように注意してください。

# ⚠ 注意

## 使用上の注意事項



禁止

**不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わない。**  
火災の原因になります。以下のような物の上では使わないでください。  
じゅうたん、ふとん、畳、テーブルクロス、プラスチックの置台 など



禁止

**壁や家具、カーテンの近くでは使わない。**  
火災・事故・変色・変形の原因になります。



禁止

**ストーブやガスコンロなど熱源・火気の近くやIHクッキングヒーターの上で使わない。**  
変形・故障の原因になります。



水ぬれ禁止

**水のかかりやすい場所や、本体の底部がぬれるような場所に置いて使わない。**  
ショート・感電・故障の原因になります。



**本体と電源プレートのあいだに汚れや異物がいないか、接続部がぬれていないか確認して電源を入れる。**  
汚れや異物が挟まれたまま使うと、異常発熱し、火災・故障の原因になります。



禁止

**ふたを外すときは出る蒸気に触れない。**  
火傷の原因になります。



禁止

**ハンドルにガタつきがある場合は使用しない。**  
ケガの原因になります。



禁止

**市販のタイマー機器を接続して使用しない。**  
故障の原因になります。



禁止

**専用の電源プレート以外は使わない。**  
**電源プレートは他の機器に転用しない。**  
発火・故障の原因になります。



禁止

**湯沸かし中は、本体を移動しない。**  
湯が流れ出たり、蒸気に触れたりして、火傷の原因になります。



禁止

**湯沸かし中は、ふたを外したり、湯を注いだりしない。**  
湯がふきこぼれ、火傷の原因になります。



禁止

**空だきをしない。**  
水が入っていない状態で通電すると、故障の原因になります。



禁止

**湯沸かし中や湯沸かし後はハンドル以外に触れない。**  
本体や電源プレート接続部が高温になるため、触れると、ケガ・火傷の原因になります。



**お手入れは冷えてから行う。**  
高温部に触れ、火傷の原因になります。



**持ち運ぶときやお手入れをするときは、注ぎ口の先端に注意する。**  
注ぎ口の先端は鋭利になっています。ケガをしないように注意してください。



プラグを抜く

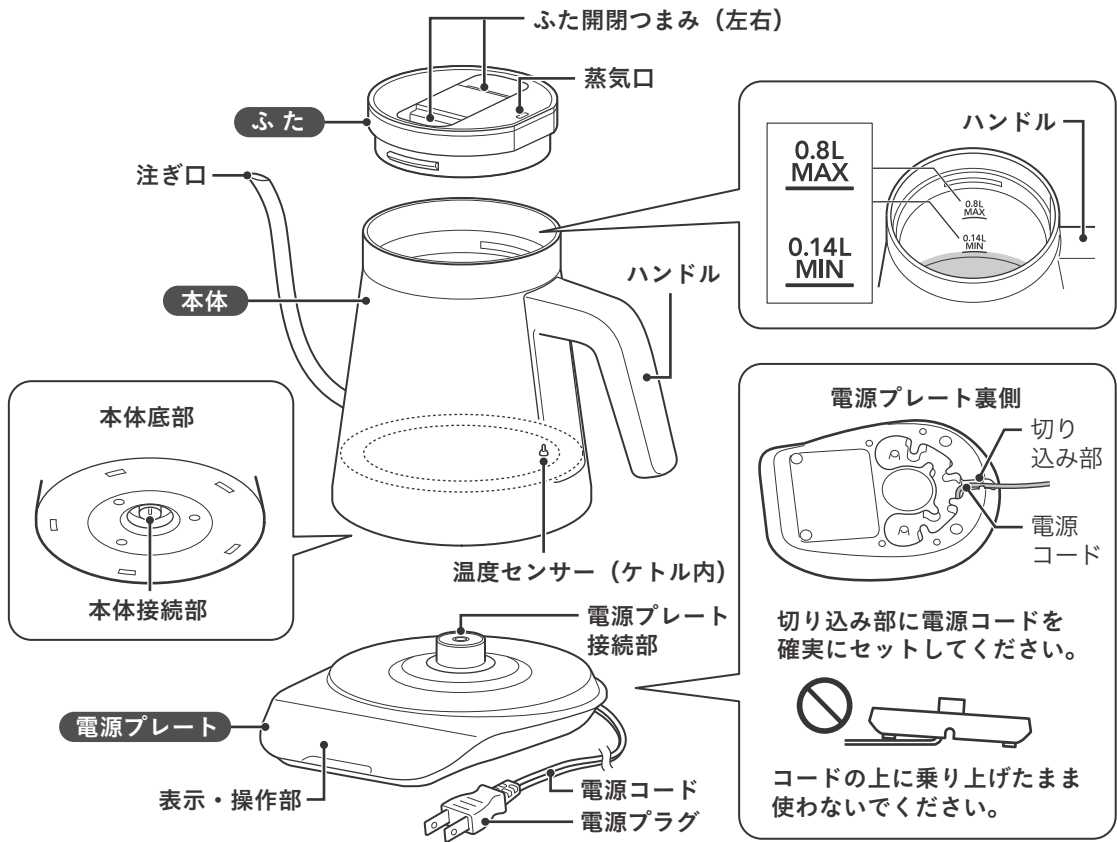
**使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く。**

使用後は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。外出するときや長期間使わないときは、電源プラグを抜いていることを確認してください。絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

## おしらせ

- 初めてお使いになるとき、ふたや本体内に水や白い跡が残っていることがありますが、これは出荷前に湯沸かし検査などを行っているためです。一度湯を沸かし、注ぎ口から湯を捨ててご使用ください。

## 2. 各部のなまえ



### ▶ 転倒時湯漏れ防止機能の働き

この製品には、転倒時湯漏れ防止機能がついています。万一転倒したときに、ふた内のおもりが弁となり、湯漏れをおさえる構造です。

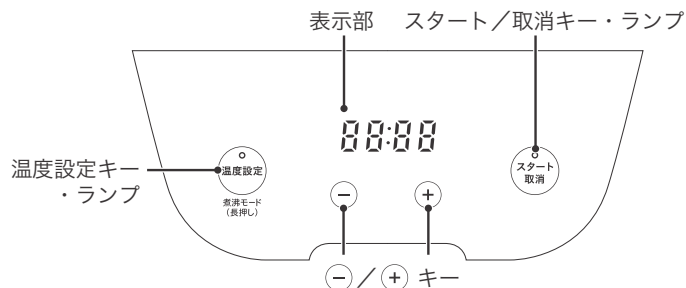
湯を注ぐときや、ふたを開閉するときの“カラカラ”という音は、おもりが動く音ですので故障ではありません。

本取扱説明書に記載の通りのご使用において、転倒したときの湯漏れをおさえる構造となっておりますが、給湯ロック機構は付いていないため、ふたが閉まっても、転倒時の状況によっては注ぎ口などから湯が流れ出るおそれがありますので、充分ご注意の上ご使用ください。

## 表示・操作部

表示部には現在の水温や設定温度、保温時間などが表示されます。操作部は状態により、できることとランプ表示が異なります。

本製品の操作部は、タッチセンサー式です。強く押さずに、指で軽くタッチして操作してください。



次の場合は、センサーが反応しないことがあります。

- ・素早くタッチしたとき
- ・指や操作部がぬれていたり、汚れているとき
- ・指にばんそうこうや傷テープをしているとき、手袋をしているとき

キー	待機中	温度設定中	加熱中	保温中
温度設定 キー・ランプ	加熱モードで湯を沸かす 長押し：煮沸モードで湯を沸かす ランプ：消灯	登録済み温度を選ぶ 長押し：加熱モードと煮沸 モードを切り替える ランプ：点灯	設定温度を確認・ 変更する ランプ：消灯	設定温度を確認・ 変更する ランプ：点灯
スタート/取消 キー・ランプ	沸とうモードで沸とうさせる ランプ：消灯	加熱を開始する ランプ：点滅	加熱を取り消す ランプ：点灯	保温を取り消す ランプ：点灯
−/+ キー	保温時間を変更する <b>P 12</b>	設定温度を1°C単位で設定 する	—	温度表示と残り時間 表示を切り替える

### 3. 使用上のお願い

#### 知っておいていただきたいこと

- 表示部の水温と実際の水温のばらつきについて  
本製品の測温方式上のばらつきやご使用環境などの条件により、表示部に表示される水温と実際の水温に若干の誤差が生じる場合があります。
- 97℃～100℃で温度設定した場合の保温について  
「加熱モード」および「煮沸モード」で温度設定を97℃～100℃にした場合は、96℃前後で保温します。

#### ご注意

- 本製品はポットと異なり、加熱中や保温中に本体が熱くなります。加熱中や保温中はスタート/取消ランプが点灯してお知らせします。スタート/取消ランプ点灯中はハンドル以外に触れないでください。火傷の原因になります。
- 取り扱いを誤ると、火傷などの危険がありますので、本書に記載の注意事項を必ずお守りください。

加熱中・保温中  
点灯

スタート  
取消

#### おしらせ

- 本製品は温度調節をしながら加熱します。温度調節時に断続的に「カチッ」と音がしますが、故障ではありません。

#### 空だき防止・温度異常検知機能について

本体が空の状態や水量が少ない状態で加熱したり、水以外の液体を加熱したりすると、事故や故障を防ぐために空だき防止機能または温度異常検知機能が働き、表示部に「C01」または「C02」が表示され、ブザーが鳴り、加熱を停止します。

#### ご注意

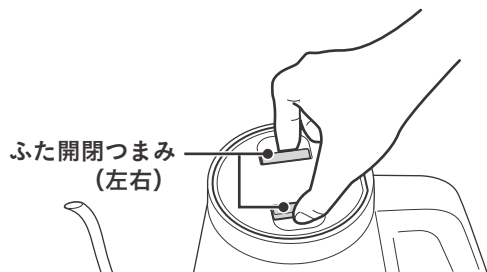
- 空だき防止機能または温度異常検知機能が働いた場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 空だきをすると、変形・変色・火災・故障の原因になります。

## 4. 使いかた

### ふたの開閉

#### ▶ 開けかた

ふた開閉つまみをつまみながら、上に持ち上げる



#### ▶ 閉めかた

ふたと本体の形状を合わせて、“カチッ”と音がして2か所のツメがはまるまでしっかり上から押す



### 準備する

初めてお使いになるときや、長期間お使いにならなかった場合は、一度湯を沸かし、注ぎ口から湯を捨ててご使用ください。

## 1 電源プラグをコンセントに差し込む

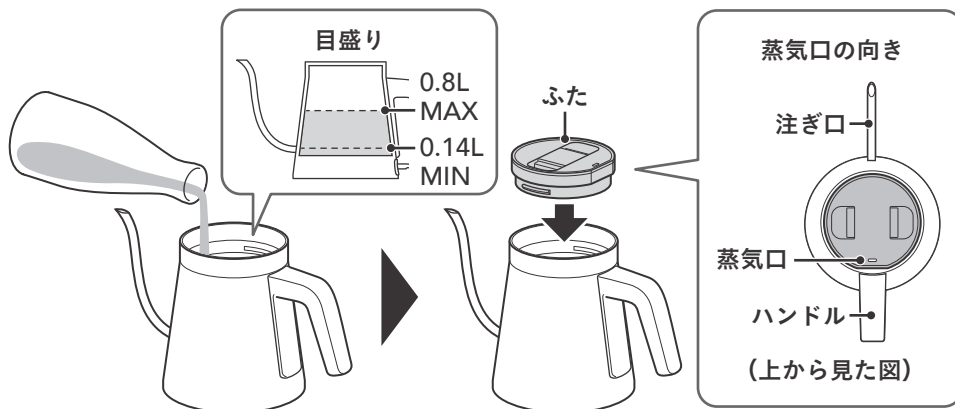
電源プレートの電源プラグをコンセントに差し込みます。表示部が点灯し、現在の水温が表示されます。

#### ご注意

- 電源プレートは、清潔で平らな場所に置いてください。

## 2 水を入れ、ふたを取り付ける

ふたを“カチッ”と音がするまで確実に押し込みます。



## ご注意

- 本体に水を入れるときは、本体外部に水がかからないように注意してください。
- 電源プレートから本体を下ろした状態で水を入れてください。
- 流し台などのぬれた場所に置かないでください。  
底面がぬれて故障の原因になります
- 満水目盛り (MAX 0.8L) 以上の水を入れしないでください。  
湯がふきこぼれて、火傷・感電・ケガの原因になります。
- 水は0.14L以上入れてください。  
水が0.14Lより少ない状態で加熱すると、湯が注ぎ口から飛び出して火傷の原因になります。また、温度が正常に検知できません。
- まれに本体の内側にしみが付いている場合がありますが、製造上の磨き工程によるものであり、衛生上問題ありません。気になる場合はクエン酸洗浄を行ってください。 **P 14**

## 3 本体を電源プレートにのせる

電源プレートと本体のあいだに異物がないか、接続部やその周囲がぬれていないか確認してください。

### ご注意

- AC100Vのコンセントを単独で使用してください。  
他の機器との併用により定格を超えると、発熱・発火・火災・感電・故障の原因になります。



## 機能について

- 本製品には3つの湯沸かし機能があり、沸とうまたは加熱後、自動的に30分間保温します。保温時間は変更することができます。

▶「保温時間を変更するには」 P 12

- また、温度調節可能な機能では、登録済み温度から選ぶか、60°C～100°Cまで1°C単位で温度を設定することができます。加熱中や保温中も設定温度を変更できます。

登録済み温度…60°C、70°C、80°C、85°C、90°C、95°C

機能	内容	操作の流れ (機能を選ぶ→温度を調節する)		
沸とうモード	温度調節：不可(100°C固定) 水を沸とうさせたあと、保温します。	スタート/取消キーを押して加熱スタート		
加熱モード	温度調節：可能 設定温度まで加熱、保温します。 (沸とうはさせません。)	温度設定 キーを押す	登録済み温度から選ぶ 温度設定キーを押す	スタート/ 取消キーを 押して加熱 スタート
煮沸モード	温度調節：可能 水を沸とうさせたあと、設定温度 で保温します。	温度設定 キーを 長押しする	1°C単位で温度を設定する -/+ キーを押す	

### ▶ 煮沸モードについて

煮沸モードでは、沸とう後、設定温度に自然に下がるまで時間がかかります。

## 水を沸とうさせる (沸とうモード)

沸とうモード：スタート/取消キーを押す

すぐに加熱が始まります。加熱中はスタート/取消ランプが点灯します。加熱中は温度表示が徐々に上がり、100°Cになると沸とうが完了します。

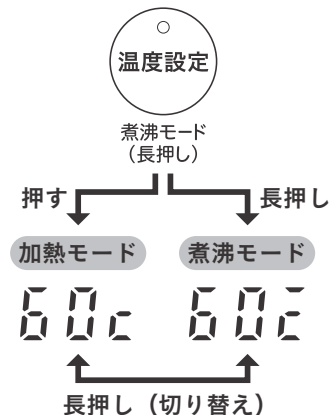
25°C ▶ 100°C  
(現在の水温)

## 好みの温度で湯を沸かす (加熱モード・煮沸モード)

### 1 機能を選ぶ

- 加熱モード：温度設定キーを押す
- 煮沸モード：温度設定キーを長押しする

いずれかのモードを選択中に温度設定キーを長押しすると、加熱モードと煮沸モードが交互に切り替わります。



## 2 温度を調節する

現在の設定温度が表示されます。温度を変更しない場合は手順3に進んでください。  
なにも操作しない状態で約3分たつと、待機状態に戻り、現在の水温が表示されます。

### 登録済み温度から選ぶときは

#### 温度設定キーを押す

キーを押すごとに温度が切り替わります。85°C→90°C→95°C→60°C→70°C→80°C

### 1°C単位で温度を設定するとき

#### ⊕ キーまたは ⊖ キーを押す

⊕ キーを押すと設定温度が上がリ、⊖ キーを押すと設定温度が下がります。  
温度は60°C～100°Cまで、1°C単位で設定できます。

## 3 スタート/取消キーを押す

加熱が始まります。加熱中はスタート/取消ランプが点灯します。  
加熱を中止するときにはスタート/取消キーを押します。

#### 加熱モード

25℃ ▶ 95℃  
(現在の水温) (設定温度)

#### おしらせ

- 加熱中に電源プレートから本体を取り外すと加熱が停止します。再度加熱するときは、電源プレートに本体をセットして操作しなおしてください。

#### 煮沸モード

25℃ ▶ 100℃ ▶ 85℃  
(現在の水温) (設定温度)

#### ご注意

- 湯沸かし中は、ふたを開けたり、手や顔を近づけたりしないでください。やけどの原因になります。
- 湯沸かし中や湯沸かし完了直後は、本体が非常に高温になります。ハンドル以外に触れないでください。

### ▶ 加熱中に設定温度を確認・変更するには

温度設定キーを押すと、現在の設定温度が表示されます。  
設定温度を変更する場合は、続けて温度設定キーまたは ⊕ キー、⊖ キーを押して設定温度を変更し、スタート/取消キーを押します。  
設定温度を変更後、なにも操作しない状態でしばらくたつと、設定温度の変更は行わずに加熱状態に戻ります。

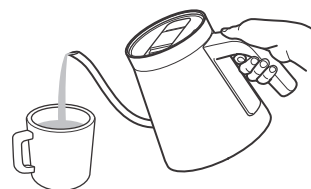
## 湯を注ぐ・保温する

### 1 沸とうまたは加熱が終わったら、湯を注ぐ

沸とうまたは設定した温度になるとブザーが鳴り、自動的にその温度で保温します。保温中はスタート/取消ランプが点灯します。

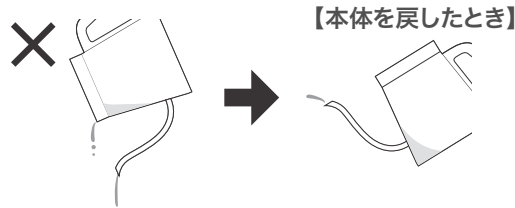
⊕ キーまたは ⊖ キーを押すと、温度表示と保温時間の残り時間表示を切り替えます。

- 沸とうモード：沸とうするとブザーが鳴ります。
- 加熱モード、煮沸モード：設定した温度になるとブザーが鳴ります。



### ご注意

- 注ぐときは本体を急に、または深く傾けないでください。湯が出切らず本体に残り、ふたからこぼれたり、本体を戻した際に残った湯が注ぎ口から飛び出して火傷の原因となります。



### お知らせ

- 保温中に電源プレートから本体を取り外すと保温が終了します。
- 使用後しばらくすると、“カチン”と音がすることがありますが、これは熱せられた金属部分が冷めるときに発生する音ですので、製品に問題はありません。

#### ▶ 保温を取り消すには

保温中にスタート/取消キーを押す

## 2 使い終わったらお湯を捨てる

### ご注意

- お湯を入れたまま放置すると、水あかが付着する原因になります。

#### ▶ 保温時間を変更するには

沸とうまたは加熱後の保温時間を10分～1時間まで10分単位で設定できます。  
お買い上げ時の設定は30分間です。

① 待機中に **+** キーと **-** キーを同時に長押しする

加熱中や保温中は操作できません。

② **+** キーまたは **-** キーを押す

**+** キーを押すと保温時間が長くなり、**-** キーを押すと保温時間が短くなります。

③ スタート/取消キーを押す

保温時間が確定します。



#### ▶ 保温中に設定温度を確認・変更するには

温度設定キーを押すと、現在の設定温度が表示されます。

設定温度を変更する場合は、続けて温度設定キーまたは **+** キー、**-** キーを押して設定温度を変更し、スタート/取消キーを押します。

設定温度を変更後、なにも操作しない状態でしばらくたつと、設定温度の変更は行わずに保温状態に戻ります。

#### ▶ 次回使うときは(メモリー機能について)

本製品にはメモリー機能が搭載されています。前回使用時の設定温度と保温時間が記憶されるため、同じ設定で使用できます。

### お知らせ

- 電源プラグをコンセントから抜くと、設定温度と保温時間設定がリセットされます。

## 5. お手入れ方法

### ご注意

- お手入れをするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。
- 本体が十分に冷めてからお手入れしてください。火傷の原因になります。
- 研磨剤入り洗剤・磨き粉・たわし・ナイロンや金属製のたわしは使わないでください。表面をキズつける原因になります。
- 台所用中性洗剤以外の洗剤、シンナー・ベンジンは使わないでください。表面をキズつける原因になります。
- 食器洗い乾燥機・食器乾燥機は使わないでください。

### ふた

- やわらかいふきんでふきます。
- 汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに中性洗剤を含ませてふき取ってください。

### 本体外部・電源プレート

#### ご注意

直接水をかけたり、丸洗いをしたりしないでください。

#### ▶ 本体外部・電源プレートのプラスチック部分

- やわらかいふきんでふきます。
- 汚れがひどいときは、固く絞ったぬれふきんに中性洗剤を含ませてふき取ってください。



#### ▶ 本体接続部・電源プレート接続部

乾いたやわらかいふきんでふきます。



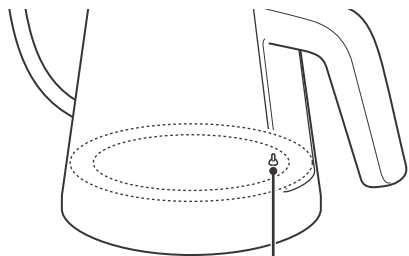
## 本体内部

### ▶ 通常のお手入れ

水でよくすすぎます。その後、自然乾燥でよく乾かしてください。

### ご注意

本体内の温度センサーを傷つけないでください。温度センサーに強い力を加えると、温度をうまく感知できないなど故障の原因になります。



温度センサー（ケトル内）

### おしらせ

- お使いになるうちに、水に含まれているミネラル成分（カルシウム・マグネシウム・鉄分など）が本体内部に付着します。
  - 虹色、黒色、乳白色などの変色
  - 赤さび状の斑点
  - 白い膜状の浮遊物これは湯あかといわれるもので衛生上問題はありませんが、汚れが目立ってきたら、クエン酸洗浄を行って汚れを取り除いてください。
- ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分を多く含む水をお使いになると、湯あかが付着しやすくなりますので、こまめにクエン酸洗浄を行ってください。

### ▶ クエン酸洗浄（汚れがひどいとき）

- ① 水を満水目盛り（MAX 0.8L）まで入れ、クエン酸（30 g程度）を入れてかき混ぜる
- ② ふたを取り付けて沸とうさせ、その後、約1時間放置する
- ③ ふたを外して湯を捨て、水でよくすすぐ。汚れが残っているときは、やわらかいスポンジでこすり落とす
- ④ クエン酸のにおいが気になるときは、水を満水目盛り（MAX 0.8L）まで入れて再度沸とうさせ、湯を捨て、水でよくすすぐ

## 保管するときは

お手入れ後、よく乾かしてから、お買い上げ時の包装ケースに入れるか、ポリ袋などで密封して保管してください。

## 6. 故障かなと思ったら

— 修理を依頼する前にご確認ください —

こんなとき	ここを確認してください
作動しない。 沸とう前に止まってしまう。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 電源プラグが抜けていませんか。 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。</li><li>● 本体が電源プレートに正しくセットされていますか。 本体を電源プレートの上に正しくセットしてください。</li><li>● 本体および電源プレートに金属片やごみが付着していませんか。 いったん電源プラグをコンセントから抜き、電源プレート接続部に付着している金属片やごみを取り除いてください。</li><li>● 水が入っていない状態や水量が少ない状態で加熱したり、水以外の液体を加熱したりしていませんか。 空き防止機能または温度異常検知機能が作動して、電源プレート接続部の加熱を一時的に停止します。いったん電源プラグをコンセントから抜き、本体と電源プレートの熱を十分に冷ましてから水を入れて、お湯を沸かしてください。</li><li>● 電源プレート、電源コード、本体が変形していませんか。 電源プレート、電源コード、本体が変形した場合は、使用を中止して、販売店またはシロカサポートセンターへご連絡ください。</li></ul>
沸とうしてもすぐに電源が切れない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本製品は、設定した温度になるとブザーが鳴り、設定した時間まで保温します。</li></ul>
注ぎ口から湯がふき出る。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 満水目盛り (MAX 0.8L) 以上の水を入れていませんか。 水は満水目盛り (MAX 0.8L) 以下にしてください。</li><li>● 水が0.14Lより少ない状態で加熱していませんか。水は0.14L以上入れてください。</li></ul>
湯沸かし中の音がいつもより大きい。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本体内部に湯あかなどが付着して汚れていませんか。 湯あかなどの汚れがひどくなると、湯沸かし中の音が大きくなります。クエン酸洗浄を行ってください。</li></ul>
操作部をタッチしても反応しない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 本体を電源プレートから取り外していませんか。 本体が電源プレートにセットされていないときはセンサーは反応しません。本体を電源プレートに確実にセットしてからタッチしてください。</li><li>● 次の場合は、センサーが反応しないことがあります。<ul style="list-style-type: none"><li>・ 素早くタッチしたとき</li><li>・ 指や操作部がぬれていたり、汚れているとき</li><li>・ 指にばんそうこうや傷テープをしているとき、手袋をしているとき</li></ul></li></ul>
加熱できない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 加熱中に電源プレートから本体を取り外していませんか。 加熱中に電源プレートから本体を取り外すと加熱が停止します。再度加熱するときには、電源プレートに本体をセットして操作しなおしてください。</li></ul>
沸とうしない。 加熱に時間がかかる。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 設定温度が低い場合は沸とうしません。</li><li>● 再加熱した場合、設定温度になるまで時間がかかることがあります。</li></ul>
水温表示が「100°C」になる前に沸とうする。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 気圧によるものではありませんか。 気圧によって沸点が異なるので「100°C」以下で沸とうすることがあります。</li></ul>
設定した温度よりも水温表示が上がることもある。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 水量が少ない状態ではありませんか。 水量が少ない状態で加熱すると、加熱完了後にヒーターの余熱で設定した温度よりも水温表示が上がる場合があります。水量は0.14L～0.8Lにしてください。</li></ul>
保温が停止する。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 設定した保温時間が経過していませんか。 保温は最長1時間です。設定した保温時間が短いときは保温時間を変更してください。➡「保温時間を変更するには」 P 12</li></ul>

## こんなとき

## ここを確認してください

湯に白い膜状のものが浮遊している。

- ミネラルウォーターやアルカリイオン水をお使いになっていませんか。または、お手入れなしで長期間お使いになっていませんか。  
水に含まれるカルシウムや鉄分などのミネラル成分によるもので、本体内部の腐食や異常によるものではありません。ただし、ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分が多い水をお使いになると、湯あかが付着しやすくなります。汚れがひどい場合は、クエン酸洗浄を行ってください。

本体内部に赤さび状の斑点や虹色などの変色がある。

- ミネラルウォーターやアルカリイオン水をお使いになっていませんか。または、お手入れなしで長期間お使いになっていませんか。  
水に含まれるカルシウムや鉄分などのミネラル成分によるもので、本体内部の腐食や異常によるものではありません。ただし、ミネラルウォーターやアルカリイオン水などミネラル成分が多い水をお使いになると、湯あかが付着しやすくなります。汚れがひどい場合は、クエン酸洗浄を行ってください。

注ぐときや、ふたを開閉するときに“カラカラ”と音がする。

- 万一転倒したときに、湯が流出するのをおさえるためのおもりが動く音です。故障ではありません。

加熱中に「カチッ」と音がする。

- 加熱や温度調節をしているときに断続的に「カチッ」と音がしますが、故障ではありません。

使用後しばらくすると、“カチン”と音がする。

- 熱せられた金属部分が冷めるときに発生する音です。故障ではありません。

表示部に「----」と表示される。

- 電源プレートから本体を取り外していませんか。  
電源プレートに本体をセットすると元の表示に戻ります。

表示部に「C01」と表示される。

- 本体に水が入っていない状態や水量が少ない状態で加熱していませんか。  
空だき防止機能が働いてブザーが鳴り、表示部に「C01」と表示されます。電源プラグをコンセントから抜き、本体に水を入れてからもう一度加熱してください。

表示部に「C02」と表示される。

- 温度センサーが異常な温度を検知した際に表示されます。電源プラグをコンセントから抜き、本体の熱を十分に冷ましてから水を入れて、加熱してください。

表示部に「C03」と表示される。

- 高地で使用した際に沸とう時に100°Cまで上がらない場合に表示されます。

表示部に「E0X」(Xは1～3の数字)と表示される。

- 故障の可能性があります。シロカサポートセンターまでお問い合わせください。

誤動作する。

- 周囲で動作している電化製品の影響を受けて、まれに誤動作などの異常が発生することがあります。異常が見られる場合は、他の電化製品からできるだけ離して使用してください。

## 7. 仕様

品名(型番)	持ちやすく注ぎやすいカフェケトル 温度調節付き (CZ-SOCK900)
電源	AC 100 V、50/60 Hz
消費電力	900 W
定格容量	0.8 L
質量(約)	0.65 kg (本体・ふた) 1.03 kg (電源プレート含む)
外形寸法(約)	幅 285 mm × 奥行 220 mm × 高さ 193 mm (電源プレート含む)
電源コードの長さ(約)	1.2 m
原産国	中国

- 特定地域(高地、厳寒地など)では、所定の性能が確保できないことがあります。
- 外観、仕様などを予告なく変更する場合があります。

### 重要

この製品は、日本国内用に設計・販売しています。日本国外では使用できません。海外での修理や部品販売などのアフターサービスも対象外となります。

## 8. 部品・消耗品

部品・消耗品の購入は、お買い上げいただいた販売店にてご注文を承ります。

部品名	部品コード
ふた	SK-D271LK